

稲・麦・大豆かわら版

～麦類編(赤かび病防除・適期収穫)～

2026.4.7 発行
栃木県塩谷南那須農業振興事務所
経営普及部 0287-43-2318
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g55/>

品質向上のポイント

- ①赤かび病防除の徹底：二条大麦は必ず1回、六条大麦・小麦は必ず2回の薬剤防除と
ほ場をよく観察して追加防除の実施！
- ②適期収穫：天気を考慮しながら適期に収穫作業を行う。刈り遅れNG！

1 生育状況及び出穂期・成熟期予測

表 令和8年産麦類（管内調査ほ）

令和8年4月3日現在

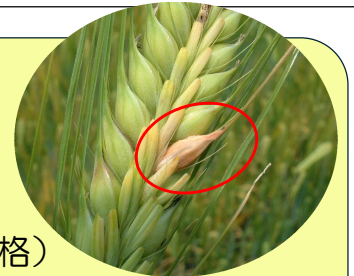
麦種	品種	場所	播種日	莖立期	出穂期予測
二条大麦	ニューサチホゴールド	さくら市	11/7	3/10	4/20
		高根沢町	11/17	3/12	4/17
六条大麦	シュンライ	さくら市	11/12	4/3	4/25

- ・二条大麦「ニューサチホゴールド」の莖立期は、さくら市が3月10日（R7産3月13日）、高根沢町は3月12日（R7産3月17日）と前年より3～5日早くなった。今後気温が平年並に推移した場合、出穂期はさくら市が4月20日（R7産4月6日）と前年より14日遅く、高根沢町が4月17日（R7産4月16日）と前年より1日遅くなる見込みである。
- ・六条大麦「シュンライ」の莖立期は4月3日で、今後気温が平年並に推移した場合、出穂期は4月25日となる見込みである。

2 赤かび病防除

<赤かび病とは？>

- ・収量及び品質を低下させる重要病害
- ・罹病すると穂にサーモンピンクのかびが見られる
- ・人畜に有害なかび毒（DON、NIV等）を産出するため、赤かび粒の混入限度が0.0%を超えてはならない（農産物検査規格）



赤かび粒(二条大麦)

<防除対策>




- ・出穂や開花の状況をよく観察し、防除適期（下表）を逃さないよう、防除を徹底する。
※降雨が続く場合でも、短い晴れ間を利用して防除を行う。
- ・薬剤感受性の低下を防ぐため、FRACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。

麦種	防除適期		多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や連続降雨)
	1回目	2回目	
二条大麦	穂揃い期7～10日後		1回目の7～10日後
六条大麦	開花始め(穂揃い期)	1回目の10日後	収穫前日数に注意して 3回目散布を実施する
小麦	開花始め(穂揃い期)	1回目の20日後	

※開花始め（穂揃い期）は出穂期5日後が目安

★農薬は使用前に必ずラベルを読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使用しましょう！

3 適期収穫

	二条大麦	六条大麦	小麦
写真			
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期3～5日後 ※8割の穂首が90度以上曲がった頃 ・穀粒水分25%以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期2～3日後 ※穂・稈を含めた全体が黄変して粒がロウ程度の硬さとなった頃 ・穀粒水分35%以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期2～3日後 ※ほとんどの穂首が黄変して粒がロウ程度の硬さとなった頃 ・穀粒水分35%以下

※成熟期：穂首が黄化し養分の転流が止まった時期（穀粒水分40%程度）

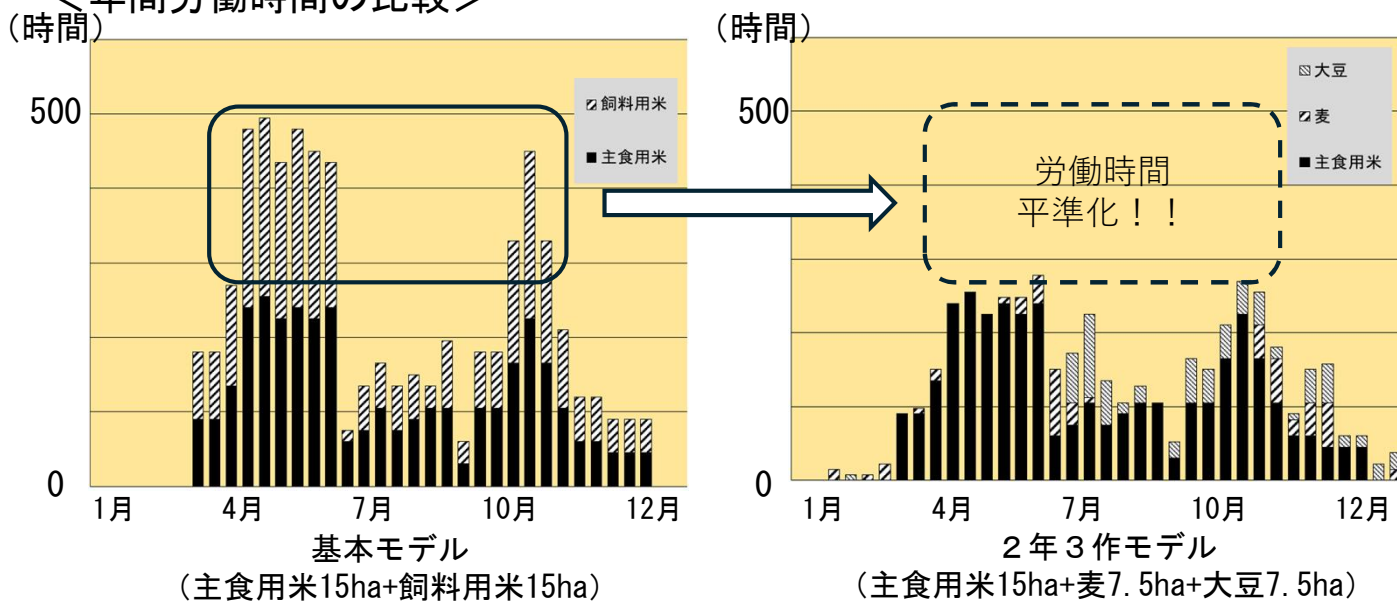
4 推奨作付け体系

水稲・麦・大豆を組み合わせた2年3作の輪作体系を取り入れ、労働時間の平準化を行い、経営改善を図りましょう！

【栽培スケジュール（2年3作）】 ※麦・大豆作付けほ場

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目		(ほ場準備)			水稲(主食用米)					(ほ場準備)	麦	
2年目	麦				(ほ場準備)	大豆					(ほ場準備)	

<年間労働時間の比較>



農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！



身支度も万全にしまる～

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する



栃木県農研センター環境技術指導部



栃木県農作物等病害虫雑草防除指針